



「広い砂浜を利用した  
観光の復活に期待」



四倉地区 復旧・復興事業竣工式

いわき管内の復旧・復興の取り組みを伝える

Vol.

# 復旧・復興だより 34



復旧・復興事業竣工式の様子

地域の方々が安心して生活できる環境が整った四倉地区  
 — 「防災力の高いまちづくり」を進められる —

いわき市四倉地区行政嘱託員（区長）協議会

会長 公平 和俊 氏

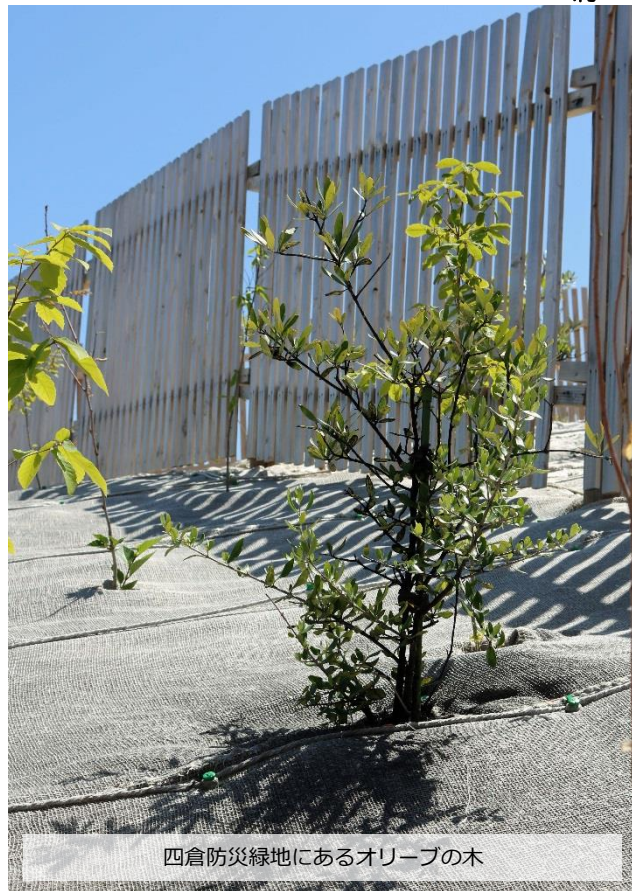
東日本大震災及び原子力災害から8年が経過し、県と四倉地区で進めてきた海岸堤防、防災緑地が完成しました。これにより、防災教育や避難訓練などのソフト対策を組み合わせた、総合的な「防災力の高いまちづくり」を進めていくことができます。

また、震災後の海水浴場のオープン以来、誘客を図るためのPRはもとより、ビーチスポーツの積極的な誘致活動を行った結果、サーフィンやビーチバレー、ビーチサッカー大会など開催されています。広い砂浜を利用した、観光の復活を期待しています。



- 四倉地区の位置 -

四倉町の復興のシンボルとして、防災緑地にオリーブの木を植樹しています。このオリーブの木は、地元の四倉小学校の児童が平成26年から育て始めました。大きく生長した平成30年に50本を防災緑地に植樹しました。  
 （いわき建設事務所）



四倉防災緑地にあるオリーブの木

いわき管内の復旧・復興進捗状況



福島県いわき建設事務所  
 〒970-8026  
 福島県いわき市平字梅本 15 番地  
 TEL 0246-24-6143 （企画調査課）



いわき建設公式 Instagram

※ 津波による被災を受けたいわき市内の事業（令和元年5月末現在）